週　報

日本基督教団　翠ヶ丘教会

since 1964

2026 年度年間聖句

「主は人の一歩一歩を定め
御旨にかなう道を備えてくださる。」
（詩編 37 編 23 節）



どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝　毎日曜日　午前 10 時半
子どもの教会　毎日曜日　午前 9 時　～10時
祈 祷 会　各水曜日
○昼の聖書研究祈祷会
（第3・午後2時）
●夕の祈祷会
（第2、第4・午後7時）

牧　師　井殿　準

〒252-0312　相模原市南区相南 2-25-65
TEL. 042-742-1593
FAX. 042-742-1393
ホームページ：http://www.midorigaoka.jp
郵便振替口座　日本基督教団翠ヶ丘教会　本会計
00290-4-80707

3237　2026 年 11 月 29 日

礼 拝 式 順 序

（待降節第 1 主日～アドヴェント I 礼拝～）

司式者　井殿　準
奏楽者　飯塚みどり

前　奏		奏楽者
招　詞	詩編 24：9～10	司式者
讃美歌	242「主を待ち望むアドヴェント」	一　同
聖　書		司式者
	エレミヤ 33：14～16（旧 P. 1241）	
	ルカ 21：29～33　（新 P. 152）	
使徒信条	（93－4－A）	一　同
祈　祷		司式者
讃美歌	232「神のみ子は世に来られた」（1～5節）	一　同
説　教	「救い主を待ち望もう」	司式者
祈　祷		〃
讃美歌	241「来たりたまえわれらの主よ」	一　同
献　金		〃
主の祈り	（93－5－A）	〃
頌　栄	29「天のみ民も」	〃
祝　祷		司式者
答　唱	40－6「アーメン」	一　同

～「主の平和を」と、祈りを込めて隣席の方々と挨拶を交わしましょう～

報　告		司式者
讃美歌	91「神の恵みゆたかに受け」	一　同

・当教会では讃美歌 21 と新共同訳聖書を使用しています。お持ちでない方は受付に常備されているものをご使用ください。
・立ち座りのご不自由な方はどうぞ着席のままお臨みください。
・ＦＭ電波による補聴器が用意されています。受付に常備してありますのでご利用ください。
・マスクの着用は個人の判断にお任せいたします。ご心配な方はマスクを着用してください。

先週の説教要旨

「神が選んでいる故に」

（サムエル記下５：１～５）

ここにはダビデが長老たちから油を注がれ、イスラエル全部族の王となった出来事が記されていたが、ダビデはそれに先立つ 10 数年前、すでに預言者サムエルから油を注がれていた（I サムエル 16 章）。

この時、サムエルは最初に紹介されたエッサイの長男エリアブが次の王かと思ったが、神が選んだのは 10 代の末息子ダビデであった。この時のダビデは少年に過ぎず、王の血筋であったわけでも、屈強な体格を持っていたわけでもなく、彼のことを「王となるに相応しい器」と思う者は誰一人いなかった。しかし、油を注がれた後、ダビデの上に主の霊が激しく降るようになり、その力に導かれて、ダビデは少しずつ王に相応しい人物へと成長して行った。神がそのように成長させてくださったのだ。

ダビデが実際に王となるまでの道のりは決して平坦なものではなかった。嫉妬に狂ったサウル王から命を狙われ、王となってからも、息子の起こした反乱で再び逃亡生活を強いられたり、部下の反乱、ペリシテ人の侵入など、次から次に困難が訪れた。その都度、ダビデは神に助けを求めて、神は彼の祈りに応えて、彼を守り、支えてくださった。そうやって、神は必要な時に必要な助けをダビデに備えた。なぜなら、ダビデをお選びになったのは神だったからだ。

ダビデは波瀾万丈な人生を生きた。同様に、我々も、それぞれに、それなりに波瀾万丈な日々を生きている。時には「もうダメだ」と思うこともある。しかし、神は、王となるのに相応しい資質など何一つ持っていなかったダビデをお選びになり、ダビデのために必要な一切のものを備えてくださったのと同じように、我々にも必要な時に必要なものをお与えくださるのだ。我々はそのことを忘れてはならない。

我々はそれぞれに、神から「ここで生きて行きなさい」と言われた場所で生きている。我々をそのように選んだのは神にほかならない。それ故、神は必ず必要な時に必要なものを備えてくださる。我々は、そのことを信じて、これからも諦めることなく、希望を胸に、力強く歩んで行こう。